



かけはし

令和2年6月（第3号）

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL:042-471-6600 FAX:042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索】

コミュニケーションで心がけたいこと！

最近読んだ本で学んだことを、「コミュニケーションで心がけたいこと」「聞き上手」「人間関係を広げる」などの視点から紹介します。

- ①相手が話の最中に、口を挟まない。（まだ、こちらが話しているのに、誰かが話し出すと、むっとして、話の腰を折られたと、その人に嫌な感じを持ってしまいます。）
- ②うなずきながら、相槌を打ちながら聞く。（うなずきながら、「うん、うん」「なるほど！」と相槌を打ちながら聞いていると、私の話をわかってくれそうだと、好感を持たれます。）
- ③話すをするときは、なるべく、共通の話題を見つけるようにします。（話題が共通だと、あれこれといろいろなことが出てきて、話がはずみます。）
- ④一方的に自分だけ話さないようにします。（話す内容があると、次々と自分だけが話しがちです。一区切りしたら、相手の話を聞いて、交互に話をするとなんか楽しくなります。）
- ⑤自慢話（と聞こえるような）をしないようにします。（自分の自慢話ばかりする人がいます。周りの人は、「また始まった！」と内心では気持ちよく思っていないことが多いようです。）
- ⑥なるべく、さわやかに、笑い顔で聞いたり話したりしましょう。（深刻な話や相談事の際は別として、明るい表情で話し、明るい顔で聞くようにすると雰囲気も明るくなり、話がはずみます。）
- ⑦他人の噂や個人情報には触れないようにしましょう。（噂話や他人の秘密暴露は楽しいように思いがちですが、自分がそうされたらどう思いますか。やめた方がいいものです。）



★実は、これらは、佐藤綾子著「自分をどう表現するか」という本を読んで、話下手の自分が今特訓中のものです。（話下手の KH）

<備考> [成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。一度、検索してみてください。

特集：コロナウイルス禍による暮らしの変化



テレワークの増加



予防・衛生意識が高まる



オンライン授業の増加



距離をとった生活



現金からキャッシュレスへ



ネット通販の利用拡大



家事と家族の時間が増える



会食の仕方の変化

これらは、TVや新聞などで報道されているものの中のごく一部です。皆さんの生活にはどんな変化が生まれましたか？

会館事務室から



今月の話題－感染症対策

数は減ったとはいえ、依然として新型コロナウイルスによる感染者が出現し、緊張の途切れない毎日が続いています。終息に至るまでには、今しばらくは感染の増減が繰り返され、いずれこれまで以上の感染の大波がやってくるという予測もされています。

SARSやMARSといった過去の感染症被害を経験して、相応の備えのあった韓国や台湾などの国々と比較して、我が国では、これまで何かと体制の不備、対応の遅れが指摘されてきました。その後、検査や医療体制の拡充など、改善が進められ、現在に至っています。しかし、次の大波に備えるには課題は山積です。

「備えあれば憂いなし」です。新型で、まだ未知なことが多いウイルスですが、少しずついろいろなことが分かってきています。感染者が少なくなってきた今こそ、確かな情報に基づいて、私たちも出来る限りの備えをしていきたいものです。



